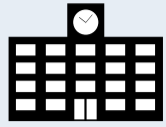


若者の政治への関心を高める取組



ガチ かける GACHI高校生×県議会議員

※GACHI(ガチ)：群馬県議会アクティブ・シチズンシップ・ハイスクールの略

群馬県議会では、若者の政治への関心を高めるため、県内すべての高校及び高等部のある特別支援学校を対象に募集し、議員が高校等を訪問し生徒と意見交換する標記事業を実施しています。

11月6日に金井康夫議員、神田和生議員が県立しらがね特別支援学校(前橋市)を、8日に本郷高明議員、井田泰彦議員、牛木義議員が県立高崎高等学校(高崎市)を訪問し、各校の生徒と意見交換を行いました。

議員が、政治や選挙の仕組みについて、○×クイズを交えて分かりやすく解説した後、生徒からの様々な質問に答えました。平成29年からスタートしたこの取組。今年度は、県内18校から申込みをいただきました。先に紹介した2校を皮切りに、2月上旬にかけて順次実施していきます。

～政治を知らなきゃソンをする！～を開催

県立しらがね特別支援学校

主なやりとり (Q:生徒 A:議員)

- Q 子どもの頃はどんなスポーツをしていましたか。
- A スキーやサッカーをしていました。しらがね特支にはいい校庭があります。健康にもいいので、皆さんも運動をたくさんしてほしいです。
- Q 議会は年に何回していますか。
- A 年に4回開かれています。1つの議会は1か月半くらいかけて行われます。県庁の隣にある議事堂で行われているので、ぜひ見学に来てください。
- Q 議員になって不安になることはありますか。
- A 議員は4年に1度選挙があり、選挙で当選しないと議員になれません。このため選挙のたびに当選するかしないか、不安があります。

県立高崎高等学校

主なやりとり (Q:生徒 A:議員)

- Q 気候変動に対して、県ではどんな対策をしていますか。
- A 「ぐんま5つのゼロ宣言」で、気候変動対策として2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロを目指して取組を行っています。太陽光発電の導入に対して補助金を出すほか、EVカーシェアリングなどを通じて、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。
- Q 少子化と人口減少について、県ではどんな対策をしていますか。
- A 県では結婚応援パスポート等に取り組んでいますが、結婚したくてもお金がなかったり、子どもを持つことを諦めたりする人がいます。そういう事案の解決に向けてしっかり検討していかなければならないと考えています。
- Q 選挙権のない我々が、これから政治参加するに当たって学んでおいた方がよいことは何ですか。また、現時点で政治参加できることはありますか。
- A 私自身、元々政治に興味は無かったのですが、地域活性化には興味があり、休日を使ってボランティア活動などを行っていました。そこから地域の課題を通じ、政治に触れてきました。政治は地元の問題や地域の課題を県や国に対して伝えていくことです。いろいろな地域の人々とつながることが政治参加のスタートと考えています。



しらがね特別支援学校で説明する金井康夫議員



高崎高校で議員に質問する生徒



高崎高校での○×クイズの様子



大学生が県議に直撃インタビュー

～若者の主権者意識を高める取組を実施～

県内すべての大学・短大など計24校と県選挙管理委員会で構成する「主権者教育を推進する群馬県大学コンソーシアム」。このコンソーシアムの学生チームが、11月29日から12月11日にかけて県議会議員にインタビューを行いました。



学生からインタビューを受ける高井俊一郎議員

これは学生たちが自ら考えた企画で、県議会議員を政策や地域づくりに関わる専門家として位置付け、インタビューを行い、その内容を学生の間で共有することで同世代の若者たちの主権者意識を高めることを目的としています。

インタビューを受けたのは、議会基本条例推進委員会に所属する30代から60代の男女6人の議員です。2～3人でグループとなった学生たちからの「議員になって良かったことは?」「これまで取り組んだことは?」「若者に伝えたいことは?」といった質問に対し、議員たちは「困っている人たちに喜んでもらえた」「不登校支援に取り組んだ」「いろいろな経験を積んでほしい」などと、真剣に答えていました。

NEWS

地方議会活性化シンポジウム2023

地道な活動が大切

～若者の政治参加意識の向上～

総務省主催の「地方議会活性化シンポジウム2023」が11月13日に都内で開催され、テーマである「将来の地方議会を担うのは誰か?」に沿って、各地域の議会における取組紹介や意見交換が行われました。



群馬県議会の取組を紹介する狩野浩志議員

パネリストとして登壇した本県の狩野浩志議員(議会基本条例推進委員長)は「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」や「GACHI高校生×県議会議員」など、若者の政治への関心を高めるために群馬県議会が実施している取組を紹介しました。狩野議員は「若者の政治への関心を高めることは並大抵ではない。地道な活動を一步一步進めることが何より。」と発言。併せて「各議会でもそうした取組を推進していただきたい。」と会場に呼び掛けました。